

## 九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和3年8月分：速報)

### <対世界>

- 輸出総額: 7,378 億円(伸率: +28.6%) ⇒ 6か月連続のプラス
  - ・順位: 27位、8月としては2位  
(順位は、昭和54(1979)年1月以降(512か月、8月は43か月)による。以下同じ。)
  - ・増加品目: 鉄鋼(同+79.8%)、有機化合物(同+48.5%)
- 輸入総額: 6,583 億円(伸率: +62.4%) ⇒ 5か月連続のプラス
  - ・順位: 51位、8月としては7位
  - ・増加品目: 原粗油(同2.0倍)、金属鉱及びくず(同+87.3%)
- 差引額: 794 億円(伸率: ▲52.8%) ⇒ 80か月連続の輸出超過
  - ・順位: 88位、8月としては6位
  - 為替レート: 2021年8月: 109.89円/ドル(2020年8月: 106.19円/ドルと比べ3.5%の円安)

### <品目別動向>

#### ○輸出

鉄鋼(418億円→752億円、伸率: +79.8%)は、タイ(23億円→179億円、同7.8倍)及びEU(3億円→73億円、同21.7倍)向けが増加し、10か月連続のプラスとなった。また、有機化合物(274億円→407億円、同+48.5%)は、中国(100億円→164億円、同+64.5%)及び韓国(52億円→83億円、同+59.1%)向けが増加し、6か月連続のプラスとなった。

一方、半導体等製造装置(517億円→481億円、同▲6.9%)は、中国(206億円→78億円、同▲62.1%)及びインドネシア(2千万円→実績なし)向けが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

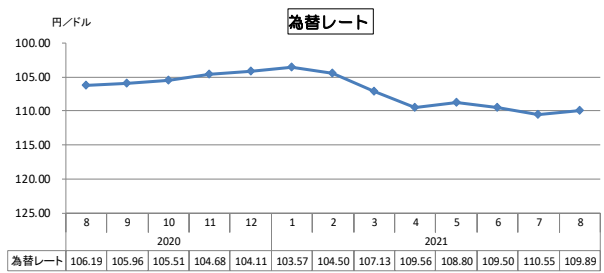
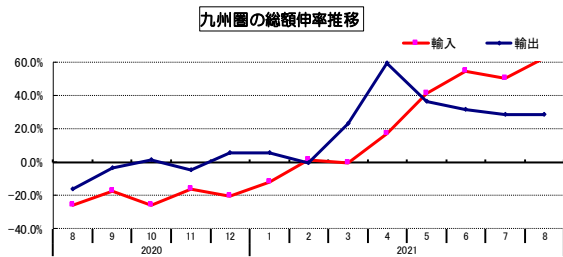
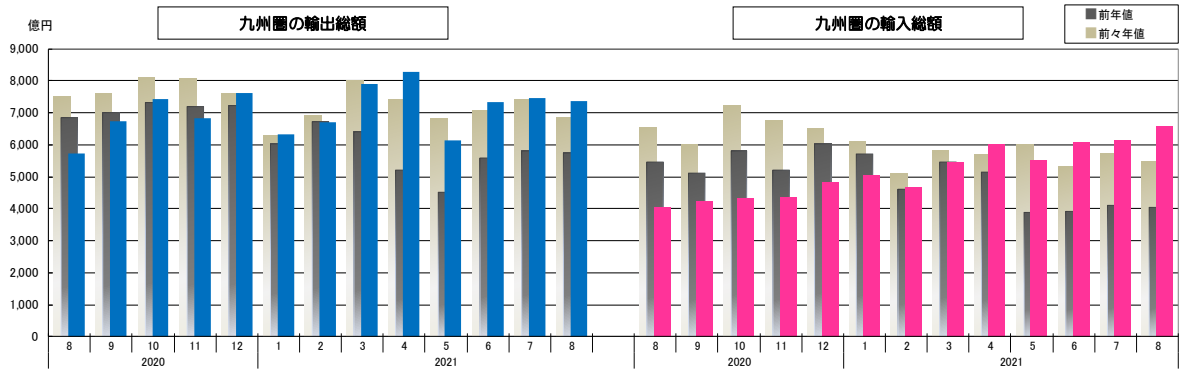
#### ○輸入

原粗油(260万KL→310万KL、伸率: +19.0%、739億円→1,513億円、同2.0倍)は、数量、価額ともに増加し、4か月連続のプラスとなった。また、金属鉱及びくず(508億円→951億円、同+87.3%)は、鉄鉱石(172億円→412億円、同2.4倍)が増加し、10か月連続のプラスとなった。

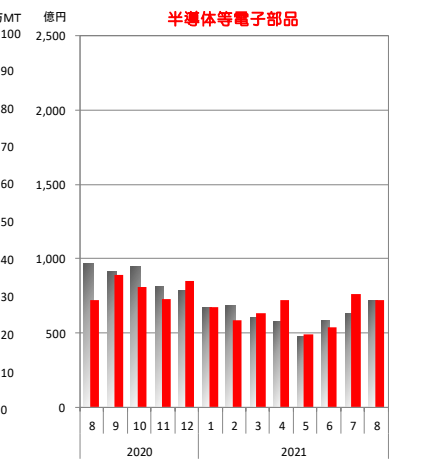
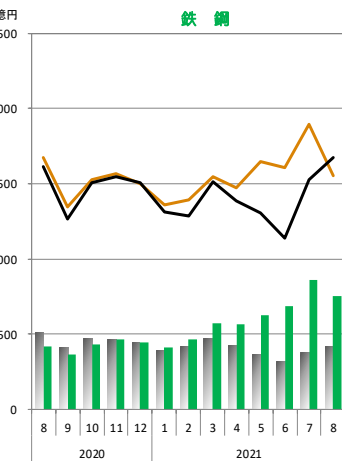
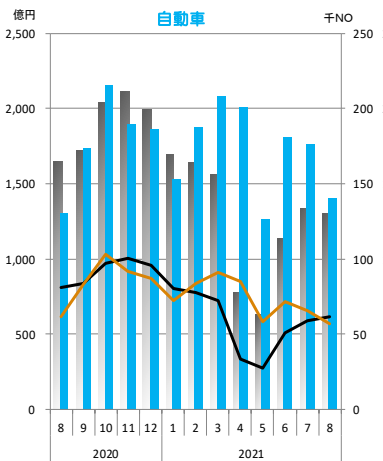
一方、織物用糸及び繊維製品(67億円→48億円、同▲27.7%)は、中国(46億円→33億円、同▲28.3%)及び韓国(12億円→2億円、同▲81.1%)からが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

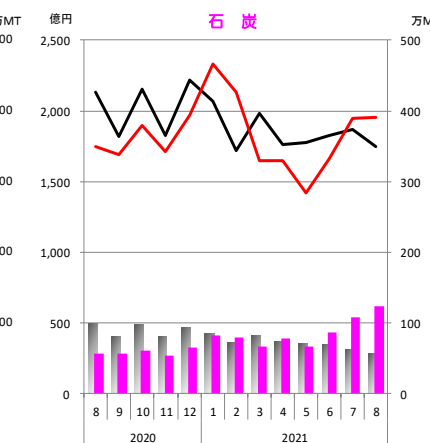
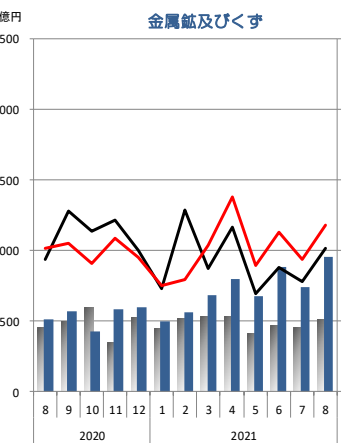
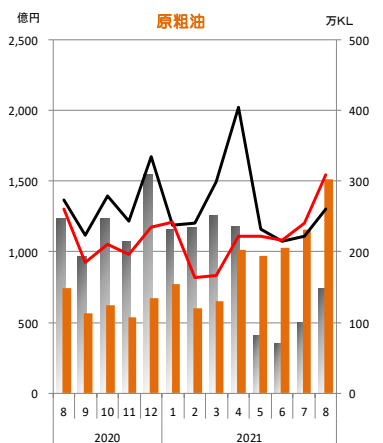
# 令和3年8月分：速報



## 九州圏の輸出主要品目推移



## 九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。